

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3226926号
(U3226926)

(45) 発行日 令和2年7月30日 (2020.7.30)

(24) 登録日 令和2年7月7日 (2020.7.7)

(51) Int.Cl.

B 6 5 D 81/32 (2006.01)

F 1

B 6 5 D 81/32

Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願2019-4761 (U2019-4761)
 (22) 出願日 令和1年12月16日 (2019.12.16)
 (31) 優先権主張番号 108215031
 (32) 優先日 令和1年11月13日 (2019.11.13)
 (33) 優先権主張国・地域又は機関
 台湾 (TW)

(73) 実用新案権者 518296609
 陳泳良
 台湾新竹市北區磐石里 1 3 鄰西大路 7 0 9
 巷 1 1 之 1 1 號
 (74) 代理人 100143720
 弁理士 米田 耕一郎
 (72) 考案者 陳泳良
 台湾新竹市北區磐石里 1 3 鄰西大路 7 0 9
 巷 1 1 之 1 1 號

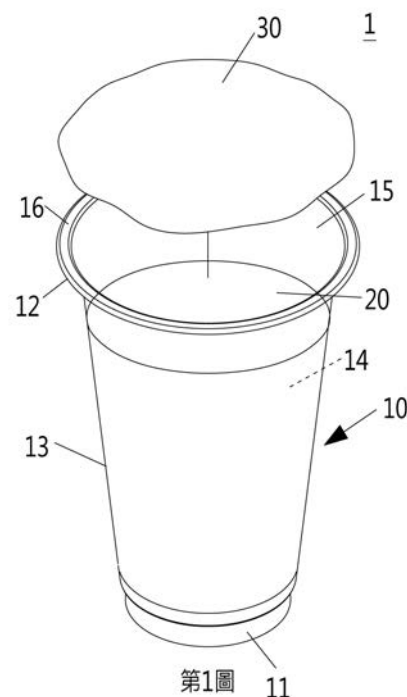
(54) 【考案の名称】 食用金箔付き飲料容器構造を有する容器

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 食用金箔付き飲料容器構造を有する容器を提供する。

【解決手段】 飲料容器構造 1 は、一つの容器 10、一つの飲料液体 20 及び少なくとも一つの食用金箔薄片 30 を含む。当該容器は、一つの底部 11、一つの頂部 12 及び当該底部と当該頂部に接続している一つの側面壁 13 を有し、当該底部と当該側面壁により一つの収容スペース 14 を決め、当該頂部が取り巻いて当該収容スペースと相通する開口 15 を形成し、且つ、該頂部が一体で直径方向から外へ伸びる環状縁 16 を形成する。当該飲料液体は、当該収容スペースに格納され、少なくとも一つの食用金箔薄片が、当該容器との接触により、暫時に当該容器の当該頂部に固定され、且つ、当該開口を覆うようにする。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも下記のもの、即ち、

次の事項、即ち、一つの底部、一つの頂部及び当該底部と当該頂部に接続している一つの側面壁を有し、当該底部と当該側面壁により一つの収容スペースを決め、当該頂部が取り巻いて当該収容スペースと相通する開口を形成し、且つ、当該頂部が一体で直径方向から外へ伸びる環状縁を形成することを特徴とする一つの容器；

当該収容スペースに格納される一種の飲料液体；及び

当該容器との接触により、暫時に当該容器の当該頂部に固定され、且つ、当該開口を覆う少なくとも一つの食用金箔薄片を含むことを特徴とする食用金箔付き飲料構造。

10

【請求項2】

当該食用金箔薄片の底面の縁部の少なくとも一部が当該環状縁と接触することを特徴とする請求項1記載の食用金箔付き飲料構造。

【請求項3】

当該容器内に更に複数の氷塊及び一種の飲料液体を有していて、当該飲料液体が下記の成分、即ち、複数の粒状食材及び一種の砂糖漬け液を含み、当該粒状食材の比重が当該乳液含有液体の比重より大きく、その中で、当該粒状食材が重力により、当該乳液の液体で段々沈むことにより、当該容器中の内容物が下から上へ粒状糖乳状層及び糖乳融合層を形成する一つの乳液と砂糖漬け食材を含む混合物を含むことを特徴とする請求項1又は2に記載の食用金箔付き飲料構造。

20

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、一種の飲料に関わり、特に一種の食用金箔付き飲料に関わる。

【背景技術】

【0002】

高純度の黄金は、一種の合法的な食品添加物であり、高純度の黄金で製作された金箔は、頭蓋内圧を下げ、且つ、心と肝臓を鎮静させることができるので、漢方医学で、一種の漢方生薬と見なされる。市場に黄金フェイスマスク等のような金箔が商品化された製品がある。これで、製品に特殊な黄金の色が付いて一層まぶしくなる。食用金箔は、食用後数十時間内で対外へ排出できるので、体内に累積せず、且つ、食用安全の心配がない。食用金箔の効き目について、古い時代から金箔がずっと薬になっている。『本草綱目』に下記の記載がある。金の味が辛くてゆるやかで有毒で、精神を鎮静させ、骨髄を固め、五臓の邪気を排出でき、これを服用すると、神仙になる。金箔が薬になる最も有名な例は、「安宮牛黄丸」であり、12種の漢方薬から構成され、主な効用は、清熱・ツボ開けと痰除去・解毒を含む。食用金箔を薬衣として利用すると、解熱、鎮静、消炎、血圧降下、蘇りと肝臓保護等の効き目を有する。

30

【0003】

ここ数年来、黄金を食べ物に入れて食用する方式が、多くの消費民衆により受け入れられる為、業者は、各種の新奇な書品を絶えず提供し、且つ、黄金を追加する宣伝手段を通じて本商品之元の売価を向上することによって、相当な利益を取得することができる；これは、現在黄金が混ぜられるさまざまな商品で証明することができる；これから見ると、商業的な角度と考慮に基づき、将来において、より多い商品が黄金箔結合の方式で現れ、且つ、商業上の利益を除いて、様々な競争力のある新商品を無形的に創造することが分かる。

40

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0004】

以上に鑑みて、本考案は、一種の食用金箔付き飲料を提供することを主要目的とする。

【課題を解決するための手段】

50

【0005】

前記目的を達成する為に、本考案の飲料構造は、少なくとも下記を含む。

1. 一つの底部、一つの頂部及び当該底部と当該頂部に接続している一つの側面壁を有し、当該底部と当該側面壁により一つの収容スペースを決め、当該頂部が取り巻いて当該収容スペースと相通する開口を形成し、且つ、当該頂部が一体で直径方向から外へ伸びる環状縁を形成することを特徴とする一つの容器；
2. 当該収容スペースに格納される一種の飲料液体；
3. 当該容器との接触により、暫時に当該容器の当該頂部に固定され、且つ、当該開口を覆う少なくとも一つの食用金箔薄片。

【図面の簡単な説明】

【0006】

【図1】本考案における飲料構造の第一実施形態構造の分解図を示す。

【図2】本考案における飲料構造の第一実施形態構造の模式図を示す。

【図3】本考案における飲料構造の第二実施形態構造の模式図を示す。

【図4】本考案における飲料構造の第三実施形態構造の模式図を示す。

【考案を実施するための形態】

【0007】

第1図を参照してください。これは、本考案の飲料構造の立体図である。本考案の飲料構造1は、少なくとも下記を含む。一つの容器10、一つの飲料液体20及び少なくとも一つの食用金箔薄片30。その中で、

【0008】

当該容器10は、一つの底部11、一つの頂部12及び当該底部11と当該頂部12に接続している一つの側面壁13を有し、当該底部11と当該側面壁13により一つの収容スペース14を決め、当該頂部12が取り巻いて当該収容スペース14と相通する開口15を形成し、且つ、当該頂部12が一体で直径方向から外へ伸びる環状縁16を形成する；本案の実施形態において、カップ状体を、当該容器の主要実施形態とする。勿論、当該容器は、その他の詰め容器であっても良い。

【0009】

当該飲料20が、当該収容スペース14に格納され、且つ、当該飲料液体の高さが、当該開口15よりやや低い。

【0010】

少なくとも一つの食用金箔薄片30が、当該容器10との接触により、暫時に当該容器10の当該頂部12に固定され、且つ、当該開口15を覆う。第2の図示を同時に参照してください。当該食用金箔薄片30端の何れかの一つの底面31が、当該環状縁16と接触する。

【0011】

本考案は、容器10の環状縁16で当該食用金箔薄片30の当該底面31に支えることによって、当該食用金箔薄片30を、暫時に当該容器10の当該頂部12に固定し、且つ、当該開口15を覆うようにする。これで、食用金箔薄片30が直接に呈飲料頂部に現れるようにし、飲料価値を増えることによって、ユーザーが上品で高貴な飲料を味わうようにし、飲料の競争力を大幅に向上することができる。勿論、飲用する時に、ユーザーは、当該食用金箔薄片30を直接に味わったり、又は当該食用金箔薄片30を、当該頂部12から脱離させて、下側の飲料液体20と混合して飲用したりすることができる。その上、当該食用金箔薄片に花等のような装飾物を置くことによって、飲料の華麗な美感を更に増加することができる。

【0012】

第3図の第二実施形態で示すように、当該容器10内に更に複数の氷塊40を有し、その一方で、複数の氷塊40が重力加速度の作用により、当該飲料液体20の上側位置に漂わい、複数の氷塊40を利用することによって、当該食用金箔薄片30の作用へのサポートを更に提供することができる。これで、当該食用金箔薄片30を、より安定的に当該容器10の頂部12に配置することができるようにする。更に、本考案において、飲料液体20がパルミルクティーであっても良く、一つの乳液21と砂糖漬け粒状食材を含む混合物22を含み、当該乳液

10

20

30

40

50

体21は、少なくとも一種の動物乳製品（例えば、牛乳、羊乳、豆乳又は調味乳等）を含むが、これらに限らない。当該混合物22は、複数の粒状食材221及び一種の砂糖漬け液222を含み、当該粒状食材221が、パールパウダー団子等であっても良いが、これに限らない。当該粒状食材221の比重が当該乳液含有液体21の比重より大きく、その中で、当該粒状食材221が重力により、当該乳液21の液体で段々沈む。このプロセス中に、当該粒状食材221及び一種の砂糖漬け液222は、段々に冷却すると同時に、当該砂糖漬け液222も、当該粒状食材221の沈降に伴って当該飲料液体20（例えば、白い乳品）の中で暗茶色模様を生じる可能性がある。例えば、瀑布状模様。その後、当該容器10での内容物は、下から上へ粒状糖乳状層20A及び20B糖乳融合層を形成することによって、豊富で多レベルの食品の口当りを増やすことができる。且つ、当該砂糖漬け粒状食材は、容器で無作為に奇特徴な模様を形成でき、これで、食用プロセスの中の楽しみを更に増加する。 10

【0013】

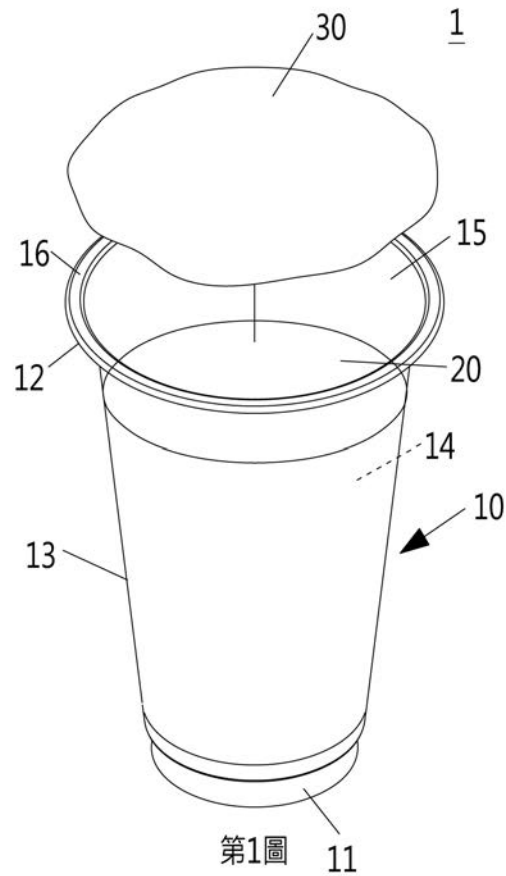
例えば、第4図の第三実施形態で示すように、当該容器は、カップ体を例として、当該側面壁13の下縁が弧形131で当該底部11に繋ぎ、当該円弧形131が、当該側面壁13の開始位置13Aで、当該側面壁13の中央位置13Bに近づいて、容器の異なる外観配置を形成する。

【符号の説明】

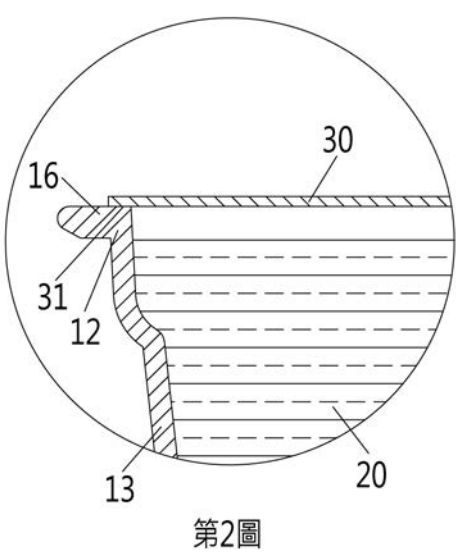
【0014】

1	飲料構造	
10	容器	
11	底部	20
12	頂部	
13	側面壁	
13A	開始位置	
13B	中央位置	
131	円弧形	
14	収容スペース	
15	開口	
16	環状縁	
20	飲料液体	
20A	粒状糖乳状層	30
20B	糖乳融合層	
21	乳含有液体	
22	混合物	
221	粒状食材	
222	糖含有浸漬液	
30	食用金箔薄片	
31	底面	
40	氷塊	

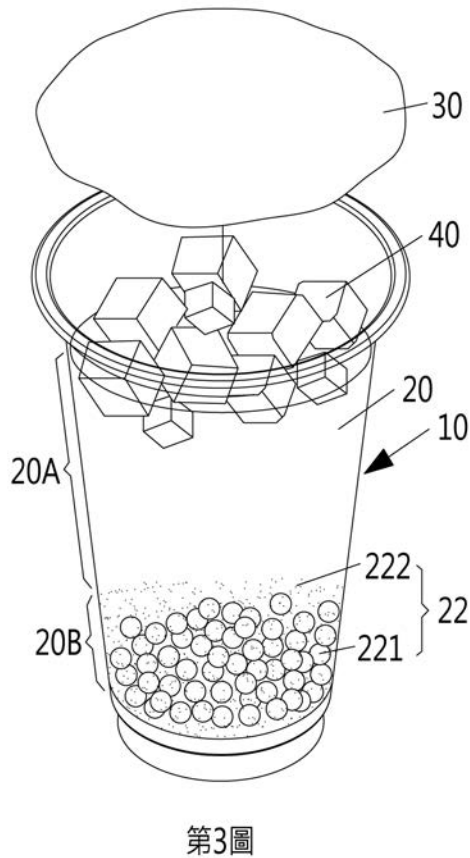
【 図 1 】



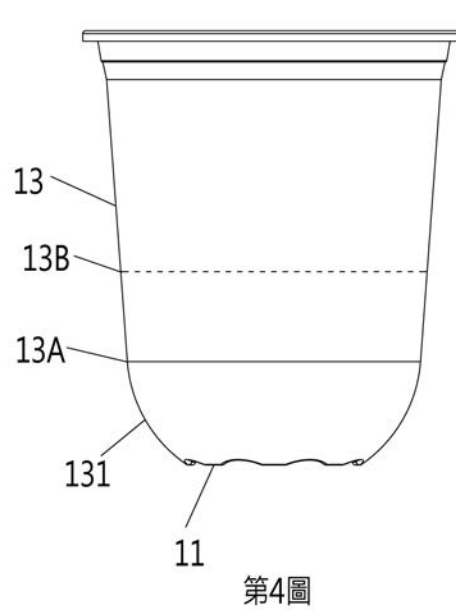
【 図 2 】



【 図 3 】



【 図 4 】



【手続補正書】

【提出日】令和2年4月13日(2020.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも下記のもの、即ち、

次の事項、即ち、

一つの底部、一つの頂部及び当該底部と当該頂部に接続している一つの側面壁を有し、当該底部と当該側面壁により一つの収容スペースを決め、当該頂部が取り巻いて当該収容スペースと相通する開口を形成し、且つ、当該頂部が一体で直径方向から外へ伸びる環状縁を形成する一つの容器；

当該収容スペースに格納される一種の飲料液体；及び

当該容器との接触により、暫時に当該容器の当該頂部に固定され、且つ、当該開口を覆う少なくとも一つの食用金箔薄片を含む

ことを特徴とする食用金箔付き飲料容器構造を有する容器。

【請求項2】

請求項1に記載の食用金箔付き飲料容器構造を有する容器において、

当該食用金箔薄片の底面の縁部の少なくとも一部が当該環状縁と接触する

ことを特徴とする食用金箔付き飲料容器構造を有する容器。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載の食用金箔付き飲料容器構造を有する容器において、

当該容器内に更に複数の氷塊及び一種の飲料液体を有していて、当該飲料液体が下記の成分、即ち、複数の粒状食材及び一種の砂糖漬け液を含み、当該粒状食材の比重が当該乳液含有液体の比重より大きく、その中で、当該粒状食材が重力により、当該乳液の液体で段々沈むことにより、当該容器中の内容物が下から上へ粒状糖乳状層及び糖乳融合層を形成する一つの乳液と砂糖漬け食材を含む混合物を含む

ことを特徴とする食用金箔付き飲料容器構造を有する容器。